

クラスター	生体機能系クラスター			
授業科目名	呼吸器学・実習			
担当者名	責任者	中山 勝敏	分担者	佐藤 一洋, 竹田 正秀
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の目的:慢性閉塞性肺疾患,肺炎および気管支喘息の治療法について,理解することを目的とする。

授業の到達目標:慢性閉塞性肺疾患,肺炎および気管支喘息の治療法を理解し,説明することを目標とする。

授業の概要:

慢性閉塞性肺疾患と肺炎は2016年には世界の死因第3位,4位になっており,これは暫く維持されてゆくと予想されている。慢性閉塞性肺疾患,肺炎および気管支喘息の成立機序を分子レベルより示し,その病態生理に即した治療法につき,最近の知見をふくめ以下の項目について概説する。

- 1,2. 肺炎の成立機序とその予防法
- 3,4. 気管支喘息の病態生理と治療
- 5,6. 慢性閉塞性肺疾患の病態生理と治療
- 7,8. 気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患の相違点
- 9,10. 慢性閉塞性肺疾患における気道感染

授業計画

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	肺炎の成立機序とその予防法	中山 勝敏	呼吸器内科学 〔講座カンファレンスルーム〕
2			
3	気管支喘息の病態生理と治療	中山 勝敏	
4			
5	慢性閉塞性肺疾患の病態生理と治療	中山 勝敏	
6			
7	気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患の相違点	竹田 正秀	
8			
9	慢性閉塞性肺疾患における気道感染	佐藤 一洋	
10			

授業形態および成績の評価方法・基準

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間,計45時間で1単位とし,評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果,提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名,メールアドレス等)

中山 勝敏, kat_n1@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など,勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または,文献を指定する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。